

令和5年11月 2日 (金)

あさひの日だまり

NO.26

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～インフルエンザがはやっています～

2年生が返ってきてくれました

現在本校ではインフルエンザがはやっています。20名ほどの児童が欠席で家で療養しています。先日まで学級閉鎖でお休みだった2年生が学校に元気に戻ってきてくれました。まだ療養期間が終わっておらず登校できない児童もいますが、連休明けには元気に来てくれるはずです。みんなが揃えば嬉しくなります。その日が待ち遠しいです。

そして今週は新たに5年生がクラス学級閉鎖になっています。学級閉鎖後は今のところ5年生もそれほど広がりを見せていません。連休明けには5年生の子どもたちが戻ってきてくれるはずです。感染しているお子さんの保護者の方とお話する機会がありました「熱が下がらず赤い顔をしてふせています」とお話ししてくださいました。薬はいただいて服用したとのことです。私もそうでしたが薬がなかなか効かない場合があります。つらいだろうな苦しいだろうなと思います。早く熱が下がってくれればと願います。

町の教育委員会から感染防止についての注意喚起が送られてまいりました。家庭にお願いする部分を掲載します。よろしくお願いします。

- (1) 体の抵抗力を高めるために、十分な休養を取り、栄養にも気を配りましょう。
- (2) 人が集まる場所への外出には、適切なマスクの着用を心がけましょう。
- (3) 発熱や咳、全身倦怠感などが見られる場合には、登校や出勤、外出を控えることを検討してください。
- (4) 具合が悪い場合は早めに医療機関を受診しましょう。

※ 受診を希望する際は、かかりつけ医や身近な医療機関に事前に電話等で相談することもよいでしょう。

- (5) インフルエンザワクチンは、発病する可能性を低減させる効果と重症化予防に一定の効果が認められていますので、接種について検討しましょう。

※インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同日に接種することが可能です

- (6) コロナウイルス感染症対策とインフルエンザ対策は基本的に同じです。

～マラソン大会の練習風景～

頑張る姿に触れて



2日の朝、全校マラソンの練習がありました。写真は、学年によって分けられたコースを一生懸命に走っている子どもたちの姿です。私は、ちょっとひざの痛みが心配で、申し訳ないと思いながら子どもが走る傍らをゆっくりと歩かせてもらいました。

走り終わって、〇週走ったよ！、とか、5、6年生のコースで一緒に走ったんだよ！と話してくれる1年生がいました。黙々と走りそのまま赤い顔をして校庭を後にする子もいました。

前回のお便りにも書かせてもらいましたが、走ることが嫌だなと思っている子に、どんなお話をすれば気持ちが前向きになってもらえるかずっと考えていました。朝昇降口で靴をつっかけながら元気にマラソン練習に飛び出していく子どもたちに「頑張っておいで」と声をかけるよりほかに良い言葉は見つかりません。

マラソン練習で走っている子どもたちの中に身を置いて、その息遣いや表情を見ていると、思わず「ご苦労さん」「頑張れよ」「すごいな～」という言葉が出てきました。

真剣に走っている子どもたちのそばでその姿を見ていると、その子が何を思いながら走っているのかが何となく伝わってくるように感じました。そして、かけてあげたい言葉が自然にわき出てくるように思いました。

今のところ、走ることが苦手な子どもたちを励ましてあげる魔法の言葉は思いつかないままですが、頑張っている子どもたちの中にいて、その子なりの頑張り以上には何も望まず、私なりの励ます言葉をかけてあげたいと思います。保護者の皆様にも、ぜひ、マラソン大会にご来校いただき、頑張っているお子さんに声がけいただけたら幸いです。

～今月は読み聞かせにご来校いただきました～



現在 5 年生が一クラス学級閉鎖になっている中ですが、ボランティアの皆様と相談して、読み聞かせを実施させていただくことにしました。

朝教室の様子を見ると、子どもたちは自分たちで机を後ろに下げてボランティアの皆様をお迎えする準備をしています。いつもならザワザワしていて一斉に読書が始まらないこともありますが、読み聞かせの日はそのクラスも読み聞かせの皆様視線がそろって話に集中しています。本の力ってすごいなと思います。

子どもたちの背中を見ながら、こんな素敵な時間を作って下さっている読み聞かせボランティアの皆様本当に感謝の気持ちが湧いてきます。

今まさに「読書の秋」です。今月の中旬からは読書旬間が始まります。委員会で色々な企画を考えてくれています。読書好きな子には本当に楽しみな季節です。日頃読書になじめていない子も、この機会に「本読むことって結構面白い」と感じてもらえたらそれが一生の宝になるかもしれません。

～素晴らしい菊をいただきました～

2 年生の菊もきれいに咲きました

現在、昇降口と職員玄関に菊の鉢が飾られています。一本の茎から何百何千と小さな花をつけている見事な菊です。これは、常日頃からお世話になっている、有賀茂人さんと読み聞かせボランティアの林様の旦那様が丹精込めて育ててこられた菊です。「小さな芽を挿し芽をしてそこから育てるんですよ」と読み聞かせに来られた折に林様からお聞きしました。「菊って挿し木ができるんですね」とお尋ねすると、前年に育てた菊が春になると新しい目を伸ばすので、それを新しい土に挿すのだと教えていただきました。



今学校で咲いている菊は直径 30 センチ以上になっています。小さな一本の新芽がこんなにすごい花になるんですね。驚きです。そして、ここまで手をかけてこられた方のご努力に頭が下がる思いです。

有賀さん、林さんからいただいた菊の鉢です。委員の子が水をくれています。登校してくる子どもたちを迎えてくれています。

一番最初に持ってきていただいたときにはまだつぼみでした。委員の子が毎朝水をくれています。今まさに満開です。配達をして下さっている業者の方が、「あの菊は誰が持ってきてくれたの?」「上手く咲かせててすごいね」「ああいうのがうちにも欲しいね」とお話ししてくださいました。子どもたちも職員も「さあこれから学校だ!」というひと時「きれいな花が迎えてくれている」と心を動かしてもらえたらいいなと思いました。私は、来年まで枯れずに残ったら、新芽を挿し芽してみようかと思います。



それとは別に校門を入ったところに、2 年生の丸山先生と子どもたちが菊を育ててくれています。こちらの菊も今満開です。毎朝子どもたちと職員を迎えてくれています。菊は来年も目を出します。2 年生が一所懸命植えてくれた菊が、これから何年もそこで花を咲かせてくれることと思います。丸山先生、2 年生の皆さんありがとうございます。

2 年生の皆さんが植えてくれた菊です